

令和2年(2020年)12月18日
 健康福祉部障がい者支援課在宅支援係
 高池 武史(課長) 松本 明久(担当)
 電話: 026-235-7104(直通)
 026-232-0111(代表) 内線 2387
 FAX: 026-234-2369
 E-mail: shogai-shien@pref.nagano.lg.jp



部局長会議におけるミニ手話講座

1 手話テキスト(「あいさつ」)

私の名前は〇〇と申します。よろしくお願ひします。

私

名前(〇〇)

申します

よろしくお願ひします



《私①》
人差指で胸を指さす。



《名前②》
右手の親指と人差指で作った丸を左胸に当てる。



《言③》
右人差指を口元から繰り返し前に出す。



《良い》
右こぶしを鼻から前に出す。



《頼む④》
頭を下げて右手で拜むようにする。

おはようございます

朝 + あいさつ

こんにちは

昼 + あいさつ

こんばんは

夜 + あいさつ



《朝》
こめかみ付近に当てた右こぶしをすばやく下におろす。



《あいさつ》
両手人差指を左右から近づけて曲げ同時に表現者も会釈する。



《昼》
右手2指を顔中央に当てる。



《暗い》
両手のひらを前に向けた両腕を目の前で交差させる。

ありがとう(ございます)

お疲れ様(です)

気を付けてお帰りください

注意

帰る



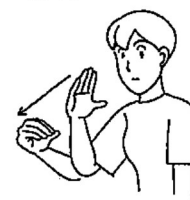
《ありがとう》
右手を左手甲に軽く当て、拜むようにする。



《苦勞》
左腕を右こぶしで軽くたたく。



《注意》
軽く開いた両手を上下に置き、体に引きつけて擦る。



《帰る》
親指と4指を開いた右手を前に出しながら閉じる。

寒いので、風邪に気を付けてください。

寒い

ので、

風邪

気をつける

お願ひ



《寒い》
両こぶしを握り、左右にふるわせる。



《ので》
両手の親指と人差指を組み、少し前に出す。



《風邪》
せきこむように右手のこぶしを口に軽く2度当てる。



《注意》
軽く開いた両手を上下に置き、体に引きつけて擦る。



《頼む⑤》
頭を下げて右手で拜むようにする。

2 その他

ミニ手話講座で使用した手話テキスト(動画版を含む)は、JSN(情報ステーション長野)及び県ホームページに掲載してありますので活用してください。